



認知症サポーター養成講座



『地域で支えよう！～「認知症」は特別なものではなく身近なもの～』

今年御所市ではじめての、地域包括支援センター主催 認知症フェアが開催されました。第1弾「介護予防教室 公開講座」第2弾「k i oオレンジ喫茶」第3弾「ふれあい人権セミナー」、そして9月30日 第4弾の「認知症サポーター養成講座」がアザレアホールにて行われました。



開会では東川市長より「みなさんと一緒に、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指したいと思います。」とご挨拶がありました。そして、講座の初めに、鴻池会地域ケアセンター長 大杉より、物忘れと認知症の違いや認知症を正しく理解することの大切さ、また周りの関わり方により認知症の方が落ち着いて過ごすことができるなどを伝えられました。

その後、認知症の方に対する家族や地域の関わり方を、サザエさん一家に扮したキャラバンメイトが『認知症でもいいじゃない』と題した劇を通して伝えました。



最後に、サテライト蜻蛉の島田理学療法士より認知症予防体操を皆さんと一緒にいき、次の日に開催される「RUN伴」の呼びかけも行いました。認知症フェアでは、地域包括支援センターが中心となり、3支援センターと多事業所・多職種のキャラバンメイトが協力し、開催出来たことにより、認知症になっても安心して暮らせる御所市に、また一歩近づいたのでは…と感じています。

鴻池会地域ケアセンター 梶谷 佳巳

